

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	分娩時の外陰・膣壁血腫の検討
研究責任者	吉田 晃大
研究機関名	日本赤十字社医療センター 産婦人科
研究目的と意義	産道損傷は日常臨床の現場では頻繁に遭遇する合併症の一つであり、分娩時の外陰・膣血腫は時に重症化し、集学的治療が必要となる場合があります。血腫を含めた分娩後出血は本邦における母体死亡原因の第1位であり、産科医療の重要な課題です。今回我々は当センターで分娩または会陰・膣血腫にて産後搬送された方々の分娩歴や分娩経過等の診療データを検討することで、今後の外陰・膣血腫予防につなげていきたいと考えています。
研究方法	<p>対象は 2008 年 1 月より 2018 年 12 月までに当院で経膣分娩された妊婦さんのうち経膣分娩後の外陰・膣血腫を生じた方々と同期間に外陰・膣血腫のため当院へ救急搬送された妊婦さんです。診療上必要な妊娠・分娩歴や診療録の内容を元に、患者さんの臨床所見、治療経過を後方視的に解析します。また研究結果は学会で公表されます。</p> <p>倫理的配慮：解析は、個人情報保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、患者さんの情報は匿名化されます。上記対象に該当する方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：吉田 晃大 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>